

新年度（令和2年度）の御挨拶

春日部市立大增中学校長

三浦 裕

4月8日、登校日として始業式（教室）、入学式（時短・縮小、生徒・教職員のみで体育館で実施）を行わせていただき令和2年度がスタートできました。一方、新年を明けたころから予期せぬ新型コロナウイルス感染症が徐々に日本、世界中へと広がり、3月には東京オリンピック・パラリンピックも延期となり、さらにその拡大から国より埼玉県に「緊急事態宣言」（外出の自粛はじめ強い要請）が発令されました。過日メール及びHPでお知らせしたように臨時休校措置が延長となりました。当面、5月7日学校再開の方針が出されましたので、学校もそれに向けて万全の準備、対応を進めているところでございます。

学校は、生徒にとって大切な学びの場、関わりや育ちの場、生きる力を育む場ではありますが、ここ1カ月余り生徒は学習や諸活動、やりたい事ができない、保護者の皆様にも多分の御心配や御苦勞をされていることと存じます。今は、何より「命と健康」を第一に、自分、周り、大切な人のために「感染しない、感染させない」ように強い意識と行動で感染症の1日も早い収束、日常を取り戻すことしかありません。国民が心ひとつにして、我慢と自覚、そして覚悟でこの感染症に打ち勝ち、この難局を乗り越えていきましょう。

改めまして、日頃より本校教育の推進にあたり、保護者、地域の皆様には御理解御協力並びに御支援いただきまして誠にありがとうございます。尚、令和2年度は、第1学年119名、第2学年102名、第3学年94名 合計生徒数315名 11（通常学級9、特別支援学級2）学級でございます。また、教職員は年度末・当初の異動もございまして36名でございます。

私は、本校校長 三浦 裕（みうら ゆたか）と申します。今年度で37年目を迎える歴史と伝統のある大增中に着任し2年目でございます。どうぞ、よろしく願いいたします。学校は、これからを担う人財育成の場であり、地域の学校、すなわち地域立の学校であります。そのために、生徒第一、生徒が主役とした本校教育のさらなる推進・発展・充実こそが使命であります。同時に「信頼こそ教育の力・柱である」として教職員は勿論ですが保護者・地域の方々がチーム大增中のメンバーとしてご支援・ご協力をいただき歩んでいく所存であります。伝統・歴史の継承は勿論、これからの時代を考え、新たな取組、創意工夫ある一体の教育活動に一途一心に取り組みたい、挑戦したいと思っています。

私の教育信条は「**人在りて、我あり**」です。教育は、日本の柱・宝であり、教育の成果は「**生徒の変容・成長にあり**」が信念です。人は、幸福を願い、求めて生きていく、そし

て社会の一員として自覚し、人との関わりを通し自分を磨き、活かし、協力する心や力を学びながら生きがいを感じ続け生きていくと考えます。そのための柱は、人との出会いと豊かな関わり、そこから得る豊かな心です。その基盤は家庭で育てられ、また地域で育てられ、学校では、その心や力をもとに、生徒たちが豊かに関わり、織りなす社会でありまして、様々な学びや体験から将来を切り拓いていく心や力（生きていく資質・能力）を備えた人財に育成していくことと考えるからです。

本校の生徒は、家庭・地域・大增中、そして日本の宝です。本校の教育目標は、開校から続く「理性・情熱・友愛」です。その精神のある目指す学校像は「活力と潤いのある学校」、この学校像の具体的な姿・心・魂を『3つの尽くす』すなわち「力を尽くす学校（人）」「ことばを尽くす学校（人）」「気持ちを尽くす学校（人）」で、この実現に生徒とともに努めてまいります。また、本校の学習・生活環境は、立野小学校と1小1中の関係であり、すなわち9年間にわたり同じ仲間、地域、学校で「学び」と「心」を磨き、高め、そして「成長」が実感できる特徴にあります。この特徴を生かしつつ特色ある教育・共育・響育（小中一貫、連携教育等）にも力を注いでまいります。

おわりに、保護者・地域の皆様におかれましては、新たな年度となりましたが変わらぬ御支援・御厚情・御協力をいただけますよう重ねてお願い申し上げ、教職員を代表して校長としての新年度の御挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。

尚、今後の対応措置については、随時変更されることもあろうかと思えます。学校としての対応、生徒向けの情報、保護者の皆様への協力依頼等に関してまして随時メール配信・HPでお知らせしてまいります。恐縮ですが、こまめに確認をお願いいたします。

令和2年4月13日